



平成29(2017)年度採択 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)
国際型ダイバーシティ研究環境実現プログラム(CAPWR)

広島大学では、平成29(2017)年度の文部科学省ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)に採択され、「国際型ダイバーシティ研究環境実現プログラム(2017年度~2022年度)」を実施しています。このプログラムの目標は以下のとおりです。

- ・研究開発及び人材育成の中核である国立大学と、ものづくり企業との産学連携に、国際協力に携わるシンクタンクの知見を融合させ、平和で持続可能な社会構築への貢献
- ・女性研究者採用の増加と上位職登用、環境整備等の取組強化による第4次及び第5次男女共同参画基本計画に掲げる目標達成への貢献
- ・大学と企業的女性研究者に新たな知識や機会を提供し、地域に根差しつつ国際的な視点も有する女性研究者、特に理工農学系女性研究者の量的・質的な拡充

CAPWRプログラムは、補助事業名に「牽引型」とあるように、広島大学が、自らの男女共同参画の実績を活かしてリーダー機関となり、ものづくり企業(マツダ株式会社, デルタ工業株式会社)との産学連携に、国際協力に携わるシンクタンク(一般財団法人国際開発センター)の知見を融合させて、地域に根差しつつ、先端的研究課題にチャレンジして、国際的に活躍する女性研究者の育成を目指します。

これらの核となる4機関に加えて、広島県、広島市、東広島市、県立広島大学、株式会社サタケ等、自治体や大学、企業等の44機関(令和3(2021)年3月現在)をメンバーとする「産学官ダイバーシティ推進協議会」を運営して、メンバー機関の取組や課題を共有し、意識改革や成功事例学習のためのセミナーを開催することで目的の達成を目指します。

CAPWRプログラムは、制度整備等のこれまでの活動に加え、産学連携による共同研究講座やインターンシップ、海外での調査研究支援や海外大学女性研究者との交流や共同研究活動の支援等を展開し、特に女性研究者が少ない理工学系を中心に、先端的研究課題にチャレンジする女性研究者の育成に焦点を当てています。

CAPWRプログラムの詳細は、同プログラムのウェブサイトにありますので、下記URLからアクセスしてください。また、ウェブサイトには、同プログラムの紹介と、企業等に勤務して活躍する女性研究者へのインタビューを収録した動画もアップしていますので、ぜひご覧ください。

<https://womenres.hiroshima-u.ac.jp/>



広島大学

- 研究開発及び人材育成拠点
- 男女共同参画推進の経験と実績
- 様々な分野の研究者が在籍

最先端のものづくりと研究開発の機会を提供

グローバルな視野を持ち
先端的研究課題に挑戦する
女性研究者の育成

海外での共同研究と論文発表に挑戦する機会を提供

マツダ(株)・デルタ工業株

- 国内外で活躍する工学系企業
- 最先端の研究開発技術
- 多くの企業とネットワーク

国際開発センター

- 国際協力の代表的シンクタンク
- 国内外の幅広いネットワーク
- SDGs企画・運営への知見

海外での共同研究と論文発表支援、
国内外女性研究者ネットワーク強化

広島大学男女共同参画推進室

〒739-8511 広島県東広島市鏡山1丁目3番2号 TEL: 082-424-4428
HP: <https://www.hiroshima-u.ac.jp/gender/>

広大 男女共同参画推進室

広島大学ダイバーシティ研究センター(東広島キャンパス教育学部B棟8階)

〒739-8524 広島県東広島市鏡山1丁目1番1号 TEL: 082-424-4559
HP: <https://www.hiroshima-u.ac.jp/diversity/>

広大 ダイバーシティ研究センター

あなたが あなたの道を 歩むために

広島大学の男女共同参画2021

広島大学男女共同参画宣言

基本方針

- 1 教育・研究・就業の場における男女平等の推進
- 2 性別に基づく差別や排除を助長する制度・慣行の見直し・改善
- 3 大学運営における意思決定への男女共同参画の推進
- 4 家庭生活と教育・研究・就業とを両立させるための男女への支援
- 5 地域社会・国際社会との連携を通じての男女共同参画の推進
- 6 男女共同参画の啓発活動と教育研究の推進

平成18(2006)年10月17日 広島大学

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/gender/about/sengen/>

男女共同参画について考えてみよう

「男女共同参画社会」とは、個人がその性別に縛られることなく、各自の個性を伸ばし、活かせる社会、そして、男女が家庭、学校、職場、地域など社会のさまざまな場面で、同等の権利と責任を持って意思決定し、実行する社会のことです。

広島大学は、平成18(2006)年に男女共同参画宣言を表明し、平成20(2008)年には男女共同参画推進室を設置して、積極的に男女共同参画を推進する体制を整備しました。以来、広島大学では、構成員が性別にかかわらずそれぞれの個性と能力を発揮し、より高めあえる職場環境・教育環境にすることを目的として男女共同参画の推進に取り組んでいます。

「組織としての意思決定の場にふさわしい能力を、男女にかかわらずもつことができるような教育と研究の場をつくる、そしてそのような考えを持つ人間を社会に排出する」、これが大学の役割です。したがって、大学において、男女共同参画を推進して、機会均等・適材適所の職場環境を構築すること、教職員がそのような意識を持つこと、そのような意識のもとで次世代を育成することは、非常に重要です。

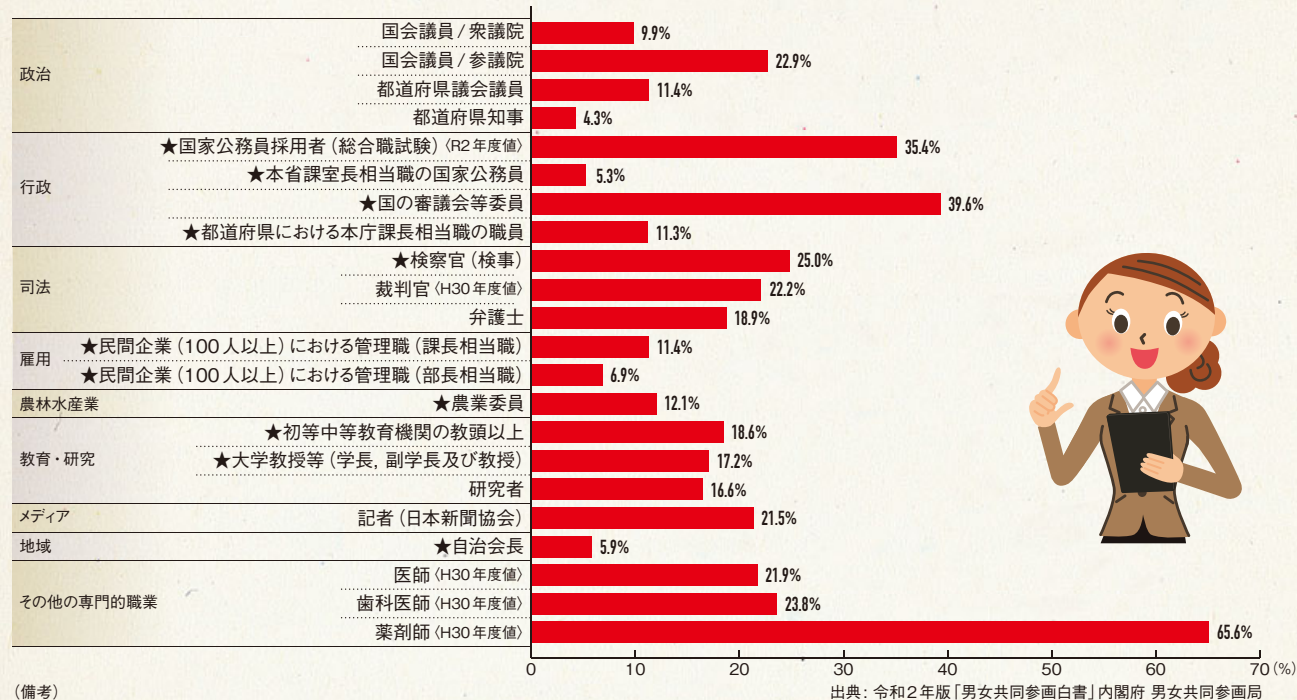
大学生の皆さんには、自分の将来の進路や人生の送り方を考える時が在学中に来ると思います。そのような時に、ぜひ、男女共同参画に関心をもって、性別にかかわらず、自分らしい人生を歩むためには何をしたいのか、何をすればいいのか、を考えてみてください。そんなときの一助になればと、このパンフレットでは、日本における男女共同参画の現状と広島大学における男女共同参画の取り組みを紹介します。

1 | 日本における男女共同参画

日本は、世界の中で生活や教育水準などが高い国の一つです。いわゆる豊かな国を示す「人間開発指数(HDI)」では、平成30(2018)年発表の報告によると日本は、189か国中19位です。しかし、2019年発表の男女平等の度合いを測る世界経済フォーラムによる「ジェンダー・ギャップ指数(GGI)」では153か国中121位と非常に低い順位です。

日本では、女性の社会進出が進み、全体として女性就業者の割合は拡大傾向にあります。下記グラフに示す通り、国会議員や知事、民間企業の管理職など指導的地位に女性が占める割合はまだ低いのが現状です。こうしたことが、日本のGGIにおける順位が非常に低い要因です。

各分野における主な「指導的地位」に女性が占める割合

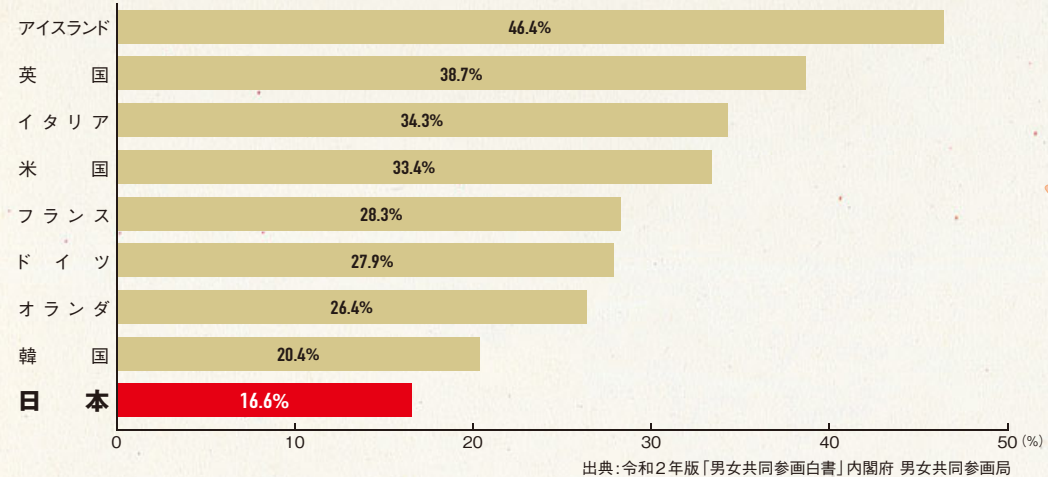


(備考)
1. 内閣府「女性の政策・方針決定参画状況調査」(令和元年度)より一部情報を更新。
2. 原則として平成31/令和元年度値。なお、★印は、第4次男女共同参画基本計画において当該項目が成果目標として掲げられているもの。

「指導的地位」の定義…男女共同参画会議決定(平成19(2007)年2月14日)において、①国会議員、②法人・団体等における課長相当職以上の者、③専門的・技術的な職業のうち特に専門性が高い職業に従事する者とするのが適当」とされている。
なお、当該決定において「指導的地位」の定義に該当する者として掲げられた分野・項目は、代表例・例示という位置づけであって、それに含まれないことをもって指導的地位ではないということを示すものではないとされている。(引用:令和2年版男女共同参画白書)

研究者に占める女性の割合をみると、平成31(2019)年3月31日現在で日本は16.6%にとどまっており、ここでも日本は諸外国と比べて低い状況です。

研究者に占める女性の割合の国際比較

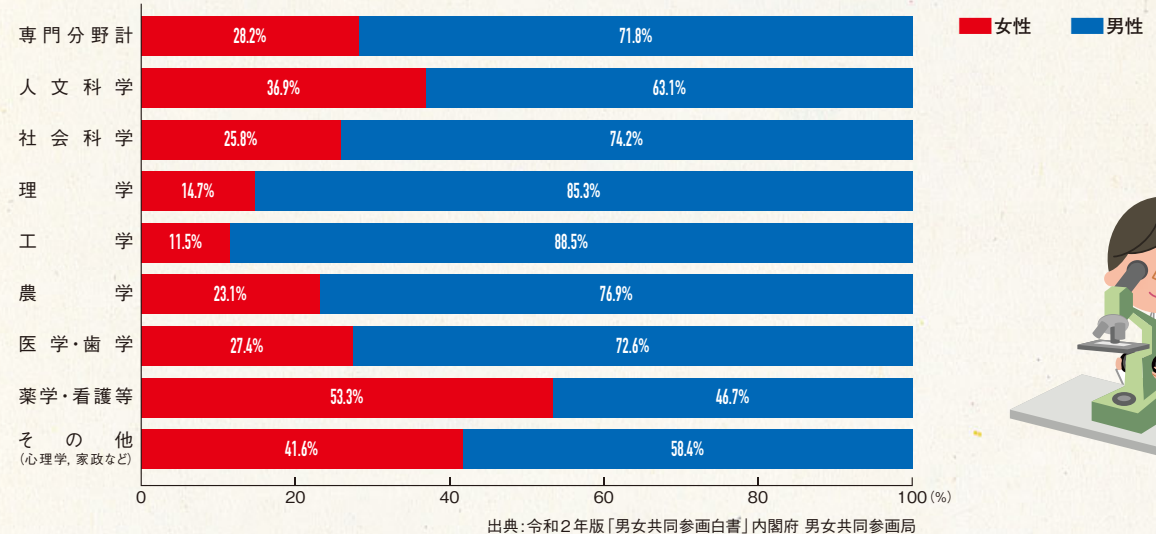


(備考)

- 総務省「科学技術研究調査」(令和元年)、OECD「Main Science and Technology Indicators」、米国立科学財団(National Science Foundation: NSF)「Science and Engineering Indicators 2018」より作成。
- 日本の数値は、平成31(2019)年3月31日現在の値。韓国は平成30(2018)年値。英国は平成28(2016)年値。その他の国は、平成29(2017)年値。推定値及び暫定値を含む。
- 米国の数値は、雇用されている科学者(Scientists)における女性の割合(人文科学の一部及び社会科学を含む)。技術者(Engineers)を含んだ場合、全体に占める女性科学者・技術者の割合は28.4%。

日本における大学等の研究本務者に占める女性の割合を分野別にみると、薬学・看護等の分野では女性が半数以上を占める一方で、工学分野は、11.5%、理学分野は、14.7%にとどまっており、分野間で偏りが見られます。

専門分野別に見た大学等の研究本務者の男女別割合



(備考)

- 総務省「科学技術研究調査」(令和元年)より作成。
- 「大学等」は、大学の学部(大学院の研究科を含む)、短期大学、高等専門学校、大学附置研究所及び大学共同利用機関等。
- 平成31年3月31日現在。

日本政府の第5次男女共同参画基本計画では、2020年代の可能な限り早期に指導的地位に女性が占める割合が30%程度となるよう取り組みを進めることとし、第5期科学技術基本計画では、女性研究者の新規採用割合を、自然科学系全体で30%、理学系20%、工学系15%、農学系30%、医学・歯学・薬学系併せて30%とするよう数値目標を示しています。

こうした男女共同参画に関連する日本の様々な法律や、ジェンダー平等に関する様々な文献を、広島大学男女共同参画推進室のウェブサイトで紹介しています。

ぜひ、右記のQRコードからアクセスしてください。

法律



文献



2 | 広島大学の現状と男女共同参画の取組

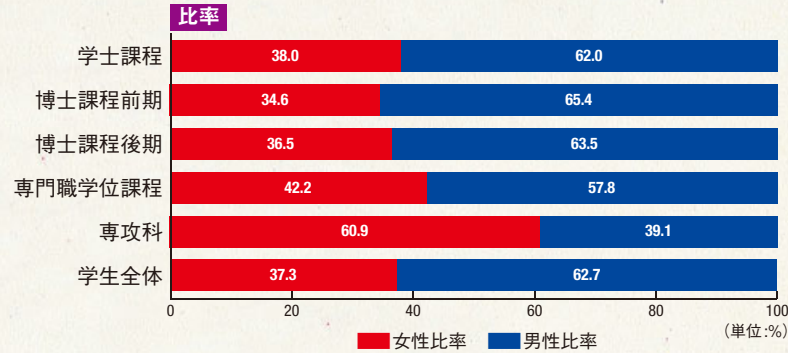
広島大学の学生・教員別男女比率

次に広島大学の現状を確認しましょう。令和2(2020)年5月1日現在における広島大学の学生に占める女性比率は、37.3%です。また、大学教員に占める女性比率は、18.2%となっています。本学においては、第3期中期計画(平成28(2016)年度～令和3(2021)年度)で女性教員比率を20%程度にするという目標を掲げています。着実に目標に向かって数値を伸ばしていますが、女性学生の割合に比べると女性教員の割合はまだ低いのが現状です。

●学生の課程別男女人数と男女比率

人数	(単位:人)		
	女性	男性	合計
学 士 課 程	4,054	6,624	10,678
博 士 課 程 前 期	902	1,704	2,606
博 士 課 程 後 期	663	1,154	1,817
専 門 職 学 位 課 程	38	52	90
専 攻 科	14	9	23
合 計	5,671	9,543	15,214

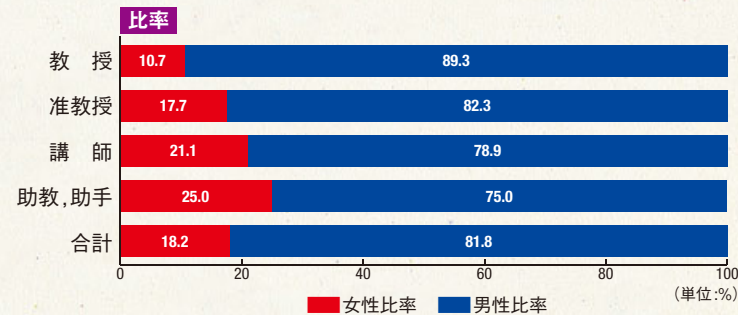
令和2(2020)年5月1日現在



●教員の職名別男女比率

人数	(単位:人)		
	女性	男性	合計
職 名			
教 授	63	525	588
准教授	83	385	468
講 師	26	97	123
助教, 助手	154	462	616
合 計	326	1,469	1,795

令和2(2020)年5月1日現在



それは「猫の手プロジェクト」から始まった

広島大学における現在の学生や教員に占める女性の割合は上記に示したとおりですが、今から約70年前の大学設立時(昭和24(1949)年)の女性学生の割合は、7%程度でした。その後は、増加して学部生における女性の割合は、平成20(2008)年ごろからは40%程度、大学院生では30%を超える割合となっています。教員に占める女性の割合は、長い間、1割に満たないままでしたが、平成19(2007)年にやっと10%台となりました。その後徐々に増え、上記のとおり現在は、18.2%となっています。

こうした背景のもと、1990年代半ばに、女性教職員が子育て・介護と仕事を両立できるような環境整備を目指す活動「猫の手プロジェクト」が生まれました。この活動は、平成18(2006)年の「広島大学男女共同参画宣言」や、平成19(2007)年の男女共同参画推進委員会や女性研究活動委員会の設置につながり、様々な制度整備が実現しました。

平成20(2008)年には、こうして整備された制度や取組を実施する組織として男女共同参画推進室が設置されました。以来、男女共同参画推進室では、積極的是正措置(ポジティブアクション※注)への対応、子育て・介護と仕事の両立のためのサポートや父親の育児参加の推進、意識啓発のためのセミナー開催や女性研究者への研究支援などに取り組んでいます。



※注: 積極的是正措置(ポジティブアクション)とは、「男女間の格差を改善するため、必要な範囲内において、男女のいずれか一方に対し、当該機会を積極的に提供すること」と男女共同参画社会基本法(平成11(1999)年6月23日施行)に定義されています。

広島大学の男女共同参画の取組

広島大学は、ジェンダー平等に関する人材育成・意識啓発、男女格差是正のためのポジティブアクション、仕事と家庭の両立支援を目的に、様々な取組を行い、男女共同参画を推進しています。

対象	取組
女性研究者対象	人材育成・意識啓発 ・意識啓発セミナー等の実施 ・キャリア支援担当員によるキャリア相談 ・研究費獲得などのキャリアアップ・セミナー ・女性研究者メーリングリストの運営
学生対象	・教養教育科目「ジェンダーと社会」開講 ・男女共同参画関連テキスト発行・配付 ・女性大学院生メーリングリストの運営
女性高校生対象	・体験科学講座 ・オープンキャンパス時の「お茶会」、相談コーナー
	ポジティブアクション ・「意思決定の場に両性の意見を反映する仕組みについて」提言と実行 ・教員公募文書に「同等と認められた場合は女性を採用」と記載 ・女性教員の部局別採用割合の公表 ・女性限定公募の実施 ・学内昇任制度(女性限定枠)
	仕事と家庭の両立支援 ・学内保育園(東広島・霞キャンパス) ・学童保育(春季・夏季・冬季子どもクラブ)(東広島・霞キャンパス) ・病後児保育施設の利用料の補助(1000円×年間16回まで)

●教養教育科目「ジェンダーと社会」の開講

教養教育科目として「ジェンダーと社会」を開講しています。現在の社会におけるジェンダーを巡る諸問題について理解し、なぜ男女共同参画が必要なのか、どうすれば男女共同参画社会が実現できるのかについて考えますので、是非受講してください。



●女性研究者のすそ野拡大

オープンキャンパスでの「お茶会」

オープンキャンパス時に女性の高校生と本学の学生の交流の場を設け、高校生からの受験勉強や大学生生活、研究のことなどの質問に学生が答えます。令和2年はオンラインにて開催しました。



女性高校生対象の体験科学講座

理工農系の研究室で実際に行われている実験などを、本学の教員と学生の指導の下、実習します。また、実習後は、高校生の質問に学生が答える懇談会を行います。



3 | ダイバーシティ 男女共同参画から多様性の包摂へ

これまで男女について述べてきました。しかし、人は男女にきっちり二分されるわけではありません。身体の性的特徴 (sex characteristics) が男女どちらかに収まりがたい人もいます。自分がどんな性別だと感じるか (性自認=gender identity) が曖昧な人もいます。さらに、だれを好きになるか (性的指向=sexual orientation) という点でも、同性を好きになる人、男女両方好きになる人、性にこだわらず好きになる人、そもそも性的な意味で人を好きにならない人もいます。また、性的にどんな見かけとふるまいを選ぶか (性表現=gender expression) も、ひとそれぞれ、時と場合によります。

性を構成するこれらの4つの要素は、「ジョクジャカルタ原則+10」(2017年発表)で、一人一人の尊厳と人間性に不可欠とされています。広島大学では、「性の多様性に関する理念とガイドライン—— LGBTなどの学生の修学のために」を定め、すべての学生が、性が理由で差別されることがないよう、安心してのびのびと学生生活を送れるよう、支援しています。

●広島大学の性の多様性についての基本理念

1. 性の多様性を尊重します

広島大学は、一人ひとりの性自認、性的指向、性表現、身体の性的特徴等の多様性を尊重します。

2. 性のありようによって差別しません

広島大学は、性の多様性と平等を基礎とし、性のありようを理由にした差別をしません。

3. 性に関する本人の意思を尊重します

広島大学は、本人がどのような性でありたいかという意思を尊重します。性のありようは、開示か非開示かを含め、本人の意思でコントロールできなければなりません。

4. インクルーシブな教育研究環境を構築します

広島大学は、性に関するインクルーシブな教育研究環境を作ります。インクルーシブな環境とは、一人ひとりのありようが尊重され、それゆえに一人ひとりが安心して自分らしくあることができ、自分らしさを発揮して、新たな知の生産に心おきなく携わる環境を意味します。とりわけ性は、自分らしさを構築する重要な一要素です。広島大学は、性のありようにかかわらず、すべての人が安心して自由に教育研究に取り組めるような環境を作ります。

性の多様性に関する理念とガイドライン——LGBT等の学生の修学のために
https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/post_16.html



ガイドライン



パンフレット



性の多様性についてのパンフレット

もっといえば、私たちの社会には、性の違いだけでなく、様々な違いが存在します。たとえば年齢、障がいの有無と程度、民族の違い、さらには、価値観、宗教、政治的な信念、職業、専門性の違いなどです。

今後の社会では、こういった多様な人々との共生、さらには自然環境との調和が不可欠です。それを具体的な目標として定めたのが、国連のSDGsです。男女平等、貧困や飢餓、エネルギー問題、気候変動、平和構築など、たがいに連動する17の分野の目標を、150を超える国々が2030年までに達成しようとしています。

広島大学のダイバーシティ研究センターでは、多様性から新たな価値を創造する研究と教育を行っています。教養教育科目「ダイバーシティ概論」では、多様性について基礎から学ぶことができます。さらに、「ダイバーシティ特定プログラム」では、「ジェンダーとセクシュアリティの領域」「障がいと病と老いの領域」「民族と文化の領域」の3つの領域に、広島大学の各学部で開設されている多様な授業科目が並べられ、履修生は自由に授業を取ることができます。自分の学部に閉じこもらず、他学部というアウェイの環境でいろいろな人とふれあい、学びを深めてみませんか。



国連のSDGs「持続可能な開発目標」

4 | それぞれの道を歩む先輩たち

大学を卒業・修了したら、皆さんはそれぞれの道を進むことになるでしょう。自分の道を歩んでいる先輩たちの多様な姿を紹介します。紙面の都合上、一部のみ掲載しています。全文はQRコードからウェブページを参照ください。



MESSAGE1 ▶ 広島大学原爆放射線医学研究所ゲノム障害医学研究センター 准教授 菅谷 めぐみさん

大好きな研究に励んでいます

学生時代 つねに更新される情報に魅せられて



大学生の時、「我々の遺伝情報を司るDNAは、たえず損傷を受けている。細胞はこのようなDNA損傷に対し、多様な修復機構を備えて、突然変異の誘発を回避している。」と講義で聴きました。自分の細胞の中で、つねにDNA損傷と修復がくり返されているということ、また、教科書の情報は、おびただしい数の研究成果から成り立っており、今もなお、更新され続けているということに、ひどく感動したのを覚えています。それから現在に至るまで、DNA損傷に対する修復機構の解明、突然変異、発がんの誘発機構解明研究に魅了され続けています。



MESSAGE2 ▶ デルタ工業株式会社 経営企画室 ICT推進課 課長 松本 房 俊さん

ガッツリ育休を取って両立しています

育休の経験 育休休業を父親として取得



私は現在、デルタ工業で会社のIT整備に携わっています。また家庭では妻と3人の子どもに恵まれ、長男が中学生、次男と三男は小学生です。妻はずっと大学の教員で障がい者就業支援の研究を続けています。私と妻はフルタイムで仕事をしており、長男と次男が生まれたとき、父親である私の方が、それぞれ1年間(2005~2006年と2007~2008年)の育児休業を取得しました。その間、人生では決して知ることがないと思っていた冷凍母乳の溶かし方に始まり、ゲップのさせ方や離乳食の作り方、さらには、空腹やトイレのタイミングのつかみ方までマスターしました。同時に、育休中も職場の動向を教えもらったり、仕事上の資格の勉強をしたりするなど、キャリアも意識して過ごし、無事に復職しました。復職後も時短勤務制度などを利用して、急病の対応やPTAなども含め、育児に積極的にかかわりました。両立に悩むこともありましたが、会社の制度や上司と同僚の協力で助けられ、自分でも、効率よく業務をこなす力や、いつでも代わってもらえるように業務を整理しておく力を身につけ、なんとか乗り切ってきました。



MESSAGE3 ▶ 広島大学 一般職員 諏訪 春菜さん

留学生を支援しています

学生時代と仕事のきっかけ 大学で学生支援の仕事に携わりたい



私が大学職員という道を選んだ理由は、学生支援の仕事に興味があったためです。私は障がいがあり、車いすを使用していますが、学生の頃は様々な場面で教職員や友人、家族のサポートを得ながら、学生生活を送りました。今度は職員として、どのような学生も安心して充実した学生生活を送ることができるような大学環境づくりに携わりたいという思いから、大学職員になることを目指しました。



MESSAGE4 ▶ こころひろshima 共同代表 當山 敦己さん

多様な性を尊重する活動をしています

自分らしさとは 人と違うからこそ魅力



「自分は周りの人と違う気がする…」そう気づき始めたのは小学校高学年でした。出生時の性別は「女性」。しかし、私の心には「男性」である自分が存在していたのです。「性同一性障害」という言葉を知ったときには、「同じ違和感を抱えた人がほかにいるんだ」と、たしかに安心はしました。しかし、ネットを調べても手術の話ばかり。教員になりたかった私は、将来像を描くことができませんでした。大学生3年生になると、周囲は就活に励み始めました。しかし私は、女性向けのリクルートスーツは着たくない一方、男性向けを着ることは許されないようにも感じ、スタートラインに立つことすらできずにいました。そんなとき、バイト先のある先輩が言いました。「人と違うからこそ魅力。いつでも味方だから、生きたいように生きてほしい。」私は自分に正直に生きると決め、男性として就職し、性別適合手術を受け、女性から男性へ戸籍を変更しました。